

生活サポートセンターあゆみ(八日市場町13-1) 〔福祉健康センター・1階〕	☎63-5224	FAX 27-2412
地域福祉係	☎63-5334	FAX 27-2415
中部支所(八日市場町13-1)	☎27-2425	FAX 27-2412
東部支所(二見町茶屋456-2)	☎43-5551	FAX 43-4427
西部支所(小俣町元町536)	☎27-0509	FAX 27-0570
北部支所(御菌町長屋2767)	☎22-6617	FAX 22-6604
伊勢市ボランティアセンター・げんこころーむ(小木町曾祢538) 〔イオンタウン伊勢ラパーク・1階〕	☎63-6370	FAX 65-6121

伊勢市社会福祉協議会

伊勢社協

検索



<https://ise-shakyo.jp>



じぶんの町を良くするしくみ

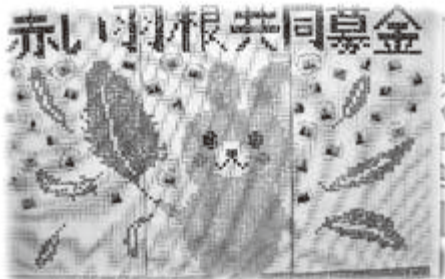
令和4年度赤い羽根共同募金



今年も厚生労働大臣の告示により、10月1日から全国一斉に赤い羽根共同募金運動が始まります。今年度も、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、街頭募金などの活動は自粛または縮小する形で実施します。皆さまのご理解、ご協力をよろしくお願い致します。

げんこころーむ

「赤い羽根共同募金シールアート」・
「カプセルトイ募金箱」を設置します♪



昨年度実施したシールアートパネル

皇學館大学ボランティアルームに協力いただき、「赤い羽根共同募金シールアート」を実施します!! 運動期間中、来所された皆さんにシールを貼っていただき、巨大アートを完成させます♪



赤い羽根共同募金の啓発グッズが入っている「カプセルトイ募金箱」!! 今回も初音ミクを通じてクリエイターの皆さんが赤い羽根共同募金を応援しています。



令和3年度

赤い羽根共同募金はこのように使われました。
ありがとうございました。

各種助成を受けた自治会などの皆さんからの

ありがとうメッセージ

(一部抜粋)



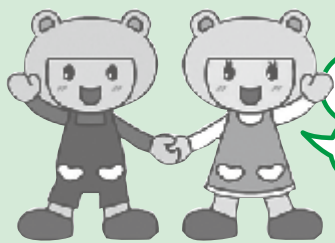
小さな公園で遊具は3種類しかありませんが、大切な遊び場として活躍しています。今回の整備により、けがなどのリスクもなくなり、遊びに来る子どもたちも喜んでます。
(児童公園遊具等整備事業)

コロナ禍で行事も少なく、子どもたちにとっては楽しい催しとなりました。町内会においても、共同募金について、身近に感じられる良い機会になりました。
(こども会等行事助成事業)

安心安全なまちづくりのため、地域見守り活動事業に対する助成は非常に大きな力となっています。
(地域見守り活動事業)

戸別募金は募金の約80%を占めています。自治会(区)長様・組(班)長様をはじめ、皆さまのご協力により集められており、本当にありがとうございます。





「げんこ地域福祉通信」は、地域福祉情報をお伝えするコーナーです。

社協はげんきな
こころ応援します

げん

げんきくん こころちゃん
●伊勢社協マスコットキャラクター

時とき 所ところ 対対象 内内容 定定員 申申し込み 問問い合わせ

第3回 ひきこもりサポーター養成講座

社会全体の課題である「ひきこもり」について理解を深め、当事者やその家族の支え手として活動してみませんか？

- 時** ①10月24日(月)、②10月31日(月)、③11月7日(月) (全3回)
※時間は①～③とも、13:30～15:30です。
- 所** 福祉健康センター・1階 日常生活訓練室 (八日市場町 13-1)
- 対** 市内在住で全日程に参加でき、講座終了後にサポーターとして登録し、継続的に活動できる人
- 内** ①ひきこもりの理解と対応について
講師：三重県こころの健康センター 職員
- ②当事者の経験談から必要なサポートについて考える
講師：ひきこもり経験者
- ③サポーターの役割について考える
講師：池田 佳寿子さん (特定非営利活動法人 青少年就労支援ネットワーク静岡 事務局長)
※③は、講師はオンライン (Zoom) 対応です。
- 定** 16人 (先着順)
- 申・問** 10月17日(月)までに、直接または電話・ファクス・Eメールで、生活サポートセンターあゆみ (福祉健康センター・1階 ☎63-5224 FAX 27-2412 ✉ise-cswsp@mie.email.ne.jp)へ

～講座終了後の活動の一例～



定期的に個別で勉強を教えたり、話をしたりして家族以外の人との交流の機会をもつことができるようにしています。

こころに不安のある人が自由に集える居場所で、創作活動やおしゃべりをしながら一緒に過ごしています。



就労体験の場で、内職などの作業を利用者さんとともに行います。



サポーターさんとの関わりの中で、利用者さんの表情が柔らかくなったり、自分の思いが言えるようになったり、会話のキャッチボールができるようになったりと、サポーターさんの関わりが利用者さんにとって一歩を踏み出す良いきっかけになっています。

※同講座は、市の委託を受けて実施しています。